



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度
滝川ロータリークラブ
会長 山口 清悦

- 例会日：毎週木曜 PM12:30より
- 例会条：ホテル スエヒロ
- 住所：滝川市明神町2-2-16
- 電話：(0125)-22-3344
- FAX：(0125)-24-2755
- メール：info@rotary.gr.jp
- WebSite：www.rotary.gr.jp

第3046回 例会報告 平成29年8月31日 (木)

会長の挨拶



国際RCの話題で10月24日が世界ポリオデーになっており10月25日、6時30分よりインターネットで式典の様子が流されます。同じくポリオの話題でRCのポリオ撲滅の運動に感銘を受けた慶応大学医学部卒業の岡安氏がジュネーブのインターナショナルRCの創立会員として立ち上げ、現在はWHOでポリオ撲滅のチームリーダーとして活躍している話題が載っています。今週月曜日に芦別市で第2グループ会長・幹事会が開催され会長と幹事が参加。その後の懇親会を考えた方6時頃の電車に乗った時、たくさん的高校生が乗っていて根室本線が無くなるとどうなるのか…今後が心配されます。火曜日に赤平RCへの会長幹事の就任挨拶にメイクアップに行きました。赤平RCも今年4人増え活発な活動しております。赤平RC例会は駅交流センターみらいで行われています。弁当から何から全部手作り音楽も鳴らし皆さん奉仕活動に従事しておりました。

幹事報告



- ①赤平・芦別RCより9月例会のプログラムが届いています。今までは事務局での案内でしたが、赤平RCを参考にし次々週から回覧の形式で行います
- ②函館で行われる地区大会の参加登録の追加・取消の確認
- ③9月6日(水)に行われる砂川合同夜間例会、次の日の9月7日(木)の例会はございません
- ④9月7日(木)第8回定例理事会の案内
- ⑤9月のロータリーレートは109円となります

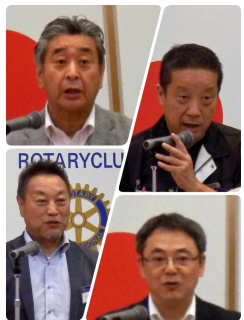
前回のプログラム [会員卓話]
— 日本の民謡と江差追分 —
【ロータリーの友誌委員会担当例会】



ロータリーの友誌委員長 佐竹春敏会員
昨年の第54回江差追分全国大会で優勝し、内閣総理大臣賞を受賞した佐竹会員。民謡とは、元々は地歌・島唄と呼ばれていた歌で、生活・労働・喜怒哀楽を表現した歌である。江差追分と

呼ばれたのも明治後半からで、それまではただの”追分”と呼ばれていた。松前藩が設置され本州から多くの人々が蝦夷に渡ってきた。北前船でやってきた人々と一緒に色々な文化や歌がやって来て混ざり合った。宝暦元年(1751年)から今の歌が歌われている記録があった。歌詞に「仮の宿」とありますが当時浜辺には2間半×2間半の仕切りで区切られていた300ほどの仮小屋の事で、そこに300~400人の遊女がいた。江差追分には踊りもありアイヌの方の踊りである。明治後期になり三流派の代表が集まりバラバラだった曲調が正調江差追分の譜として定められた。大正になり片面3分のレコードを作るに辺り2分40秒の江差追分は1~7節まで歌った後にまた1節のみ入れてレコードの3分に合わせた。その後も揉め事が絶えない江差追分は昭和に入り江差町長が代表になり行政が治める。現在も江差町には追分課がある。桧山振興局では北海道の無形民俗文化財である江差追分の授業を行っている。昭和30年代空知民謡連盟では800人の会員が居たが現在は300人を切っていて、平均年齢は68歳で民謡連盟では若い世代の方に民謡に触れる機会を作っているとの卓話を聞かせて頂きました。

委員会報告・会員情報



- 【親睦委員会】
9月6日(水) 滝川・砂川合同例会の案内
- 【鷺尾会員】
9月16日(土)文化センターで行われる滝川音楽協会主催コンサート～郷土出身音楽家の夕べ～「ふるさとにて」の案内
- 【野球同好会】
例会終了後、伊達で行われる地区野球大会の打ち合わせの案内
(選手19名+応援団 6名)

次週の予定

- 9月1日(金) 2510地区親睦野球大会前夜祭(伊達市)
- 9月2日(土) 2510地区親睦野球大会(伊達市営球場)
- 9月6日(土) 砂川合同夜間例会(砂川パークホテル)
- 9月7日(土) 第8回 理事会

ニコニコBOX報告(敬称略)

戎谷侑男、山根英治、鷺尾昌法、近藤正孝、桜井寿紀、高橋賢司、山本充、和泉豊樹、千田史朗、佐竹春敏
《皆様のご協力ありがとうございました》
【合計 29,000円、累計 435,000円】

出席報告 8月31日

会員数	病欠	免除	出席	欠席	出席率
94名	1名	12名	64名	23名	74%

- メイクアップ：8/18 戎谷侑男(地区会議)
- 8/29 山口会長・鷺尾幹事(赤平RC)

【今週の寄付】(敬称略)

- ◆米山： 小山進・鷺尾昌法・篠島弘・深澤和範